

防犯カメラのネットワーク化について

1 概要

緊急事案への即時対応が可能な体制を構築するため、駅前広場や規模の大きな公園、地下道などの市管理施設に設置している防犯カメラについて、更新に合わせてネットワーク化を行う。

2 防犯カメラの現状

現在、市が設置している防犯カメラは、ネットワーク化はしておらず、それぞれの防犯カメラ本体に格納されているSDカードに過去1週間程度の映像が保存されている。映像の確認が必要な場合は、防犯カメラの近く(10m以内)まで職員が出向き、無線でダウンロードするか、SDカードをカメラ本体から抜き出し、本庁に持ち帰って確認を行っている。

【年度ごとの設置台数】

平成28年度	30台
平成29年度	15台
平成30年度	15台
令和元年度	3台
令和2年度	10台
計	73台

【場所ごとの設置台数】

駅前広場	22台
公園	23台
地下道	13台
駐輪場	13台
歩道橋	2台
計	73台

3 ネットワーク化によるメリット

○緊急事案への即時対応

本庁舎に設置するPCから、インターネット回線を通じて映像の即時取得が可能となり、緊急事案への対応を素早く行うことができる。

○より確実な管理

インターネット回線を通じて防犯カメラの作動状況を常時確認することが可能となるため、停電などにより防犯カメラに異常があった場合に、すぐに対応することができる。

4 ネットワーク化の進め方

平成28年度に設置した防犯カメラ30台の保守保証期限(5年間)が令和3年度末に終了し、その後も設置年度順に毎年終了していく。現在73台で運用している防犯カメラについて、100台での運用を念頭に、年度ごと20台を順次ネットワーク化し、5年間で事業を完了する。

整備期間	2022~2026年(5年間)
整備台数	年20台(計100台)

5 令和4年度予算(案)

項目	内 訳	金 額
防犯カメラ設置工事費	1台 695,000円×20台 カメラ交換・設置費用 (5年間保守保証料込み)	13,900千円
通信運搬費	インターネット回線通信費 遠隔操作システム使用料 本庁光回線通信費・回線工事料等	1,200千円
修繕費	保証対象外となったカメラの修繕費	300千円
合計		15,400千円